

集計結果データの貸与対象とする変数

1. 教科データの結果公表・返却について

本体調査の教科調査においては、平成19年度の開始以来、正答数・正答率が結果公表に使われてきた。令和7年度は中学校理科がCBT化されたことに伴い、IRTスコア、IRTバンドによる結果公表・返却を行った。

(IRTスコア：自治体・学校に返却。IRTバンド：学校、個人に返却)

今後、本体調査では順次CBT化による教科調査を拡大する予定（令和9年度以降）。それに伴い、小中学校の全教科において、IRTスコア、IRTバンドによる結果公表・返却が行われる予定。

経年変化分析調査は、平成25年度から約3年毎に実施されており、開始からすべての教科についてIRTによる結果の算出を行ってきた。

調査	問題の公開／ 非公開	自治体、学校、個人への結果返却
本体調査 (R7は中学校理科)	公開問題と非公開問題	・ 公開問題部分は、従来と同様に正答数を返却 ・ 非公開問題部分は、返却していない ・ 公開・非公開問題を合わせた形で、教科全体のIRTスコア、IRTバンドを算出し返却
経年変化分析調査	非公開問題のみ	・ 返却していない

2. 貸与の対象となる変数

★ 赤枠が貸与の対象となる変数 ★

本体調査の教科に関する変数

令和7年度中学校理科
(CBT) の変数

従来型の教科変数

正答数
正答率
学力層
領域・観点・形式別正答数
領域・観点・形式別正答率
類型
正誤

～教科全体～

IRTスコア
IRTバンド

～公開問題～

正答数
学力層
領域・観点・形式別正答数
領域・観点・形式別正答率
類型
正誤

～非公開問題～

類型
正誤

経年変化分析調査の 教科に関する変数

類型
正誤
学力スコア※

※ 学力スコアの算出には
数種類の方法があり、本
調査においては、令和3
年度から4種類の方法で
スコアを算出しているが、
貸与する変数はそのうち
の1種類のみ

秘匿性を担保しつつも、研究者が、
IRTの分析手法等を研究する場合に
利用できる調査が必要。

研究目的に鑑み、正誤等の問題に
関する情報を貸与対象とする。

※ 学力スコアについては、公表数
値の基となる算出法で求めた結
果のみを貸与する。

公開・非公開問題を合わせた形で、教科全体のIRTスコア、IRTバンドを算出。

CBTにより生徒により異なる問題が出題されること、一定数同様の出題を重ね経
年で比較を行うために、非公開問題が重要な役割を果たしていることから、非公
開問題の類型や正誤は、個人、学校、教育委員会に提供していない。

非公開問題の秘匿性を担保することの重要性に鑑み、その内容については、一
般貸与の対象としない。